

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	廃棄物対策課長 近藤 一幸	電話番号	0852-22-6173
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	ダイオキシン類対策事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	監視ポイントを定め継続的に監視し、必要な対策を講ずる。	
事業概要	環境中のダイオキシン類濃度の監視、実態把握及び公表を行うため、県内の大気・公共用水域（水質・底質）・地下水・土壌について、濃度を測定する。また、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設が、排出基準を遵守していることを確認するため、ダイオキシン類を測定する。あわせて、特定施設の設置者に対して、各種届出、自主検査の指導や立入検査等を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	環境基準達成率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	環境基準適合件数／調査件数	目標値	100.00	100.00	100.00	
			実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	環境基準適合率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	7,646	9,502
うち一般財源(千円)	7,646	9,502

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

すべて環境基準に適合している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の大気・公共用水域（水質・底質）・地下水・土壌で環境基準に適合していることが確認できた。特に地下水・土壌ではこれまで未調査であった地点でも環境基準への適合が確認できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
特になし
- ②困っている状況が発生している「原因」  
目的を達成しているため、特になし
- ③原因を解消するための「課題」  
特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、環境中のダイオキシン類濃度の監視、実態把握及び公表を行うとともに、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設が、排出基準を遵守していることを確認するため、ダイオキシン類を測定する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）